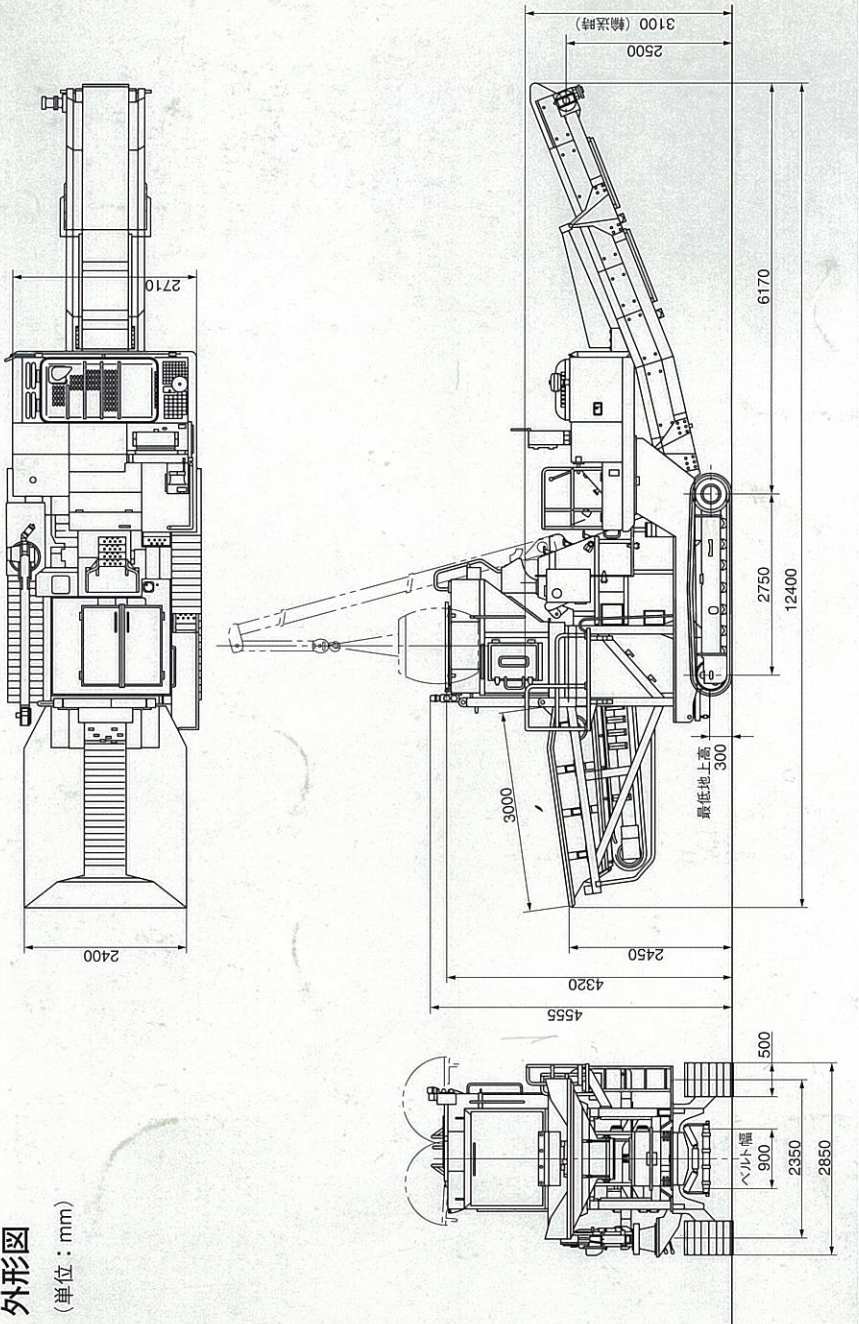


外形図

(単位：mm)



仕様

運転質量	18500kg
定格出力	99kW(135PS)/(2000rpm)
全長	12400mm
全高/全高(輸送時) ※1	4490mm/3100mm
全幅	2850mm
最低地上高	300mm
名称	コマツS6D102E
形式	直噴+過給機
総行程容積(総排気量)	5.883ℓ(5883cc)
処理能力 ※2	40~80m³/h
混合方式	ソノルカッタ+3軸ロータリーハンマ
原料土ホッパー容量	1.8m³
最大異物塊寸法 ※3	200mm
固化材ホッパー容量	3.0m³
固化材供給量調整範囲	20~180kg/m³

本体性能	走行速度(前・後進共)	3.1km/h
	登坂能力	25°
	接地圧	66kPa(0.67kg/cm²)
各部装置	標準シユーム形式	トリプルグロウサ
構造	シユーム幅	500mm
	履帯中心距離	2350mm
	接地長	2750mm
	クレーン吊上能力	2.63ton/1.6m 1.03ton/3.5m
	クレーン ブーム長	2.59~6.4m
油の量	燃料タンク	310ℓ
	作動油タンク	230ℓ

単位は、国際単位系によるSI単位表示。()内の非SI単位は参考値です。

- ※1 輸送時は固化材ホッパー・上部ステップ・ホッパガードを取り外す必要があります。
- ※2 処理能力は土をばくした状態の値です。投入する土の種類・作業条件により異なります。
- ※3 レキ等の異物を多く投入すると混合機の寿命が低下する場合がありますので、できるだけ除去して下さい。

- オプション
- 溝挿用エアコンプレッサ
 - 600mm幅トリプルローサシユーム
 - クレーンレス仕様
 - 第2アタッチメント用油圧配管 (28ℓ/min)
 - 第3アタッチメント用油圧配管 (20ℓ/min)
 - 2次ベルトコンベア (750mm×10m)

●本機は改良のため、予告なく仕様変更することがありますのでご了承ください。

●掘削写真は一部販売車と異なる場合があります。

●本機を利用される際の注意事項の取得が必要です。コマツでは車両教習を要しておりますのでご利用ください。

●機体重量3トン以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。

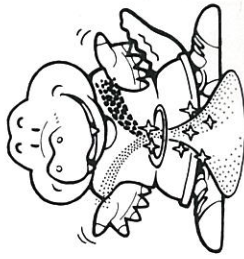
●クレーンを使用する場合は、「小型移動式クレーン運転技能講習修了証」(玉掛け技能講習修了証)の取得が必要です。

●お問い合わせは

KOMATSU

コマツ

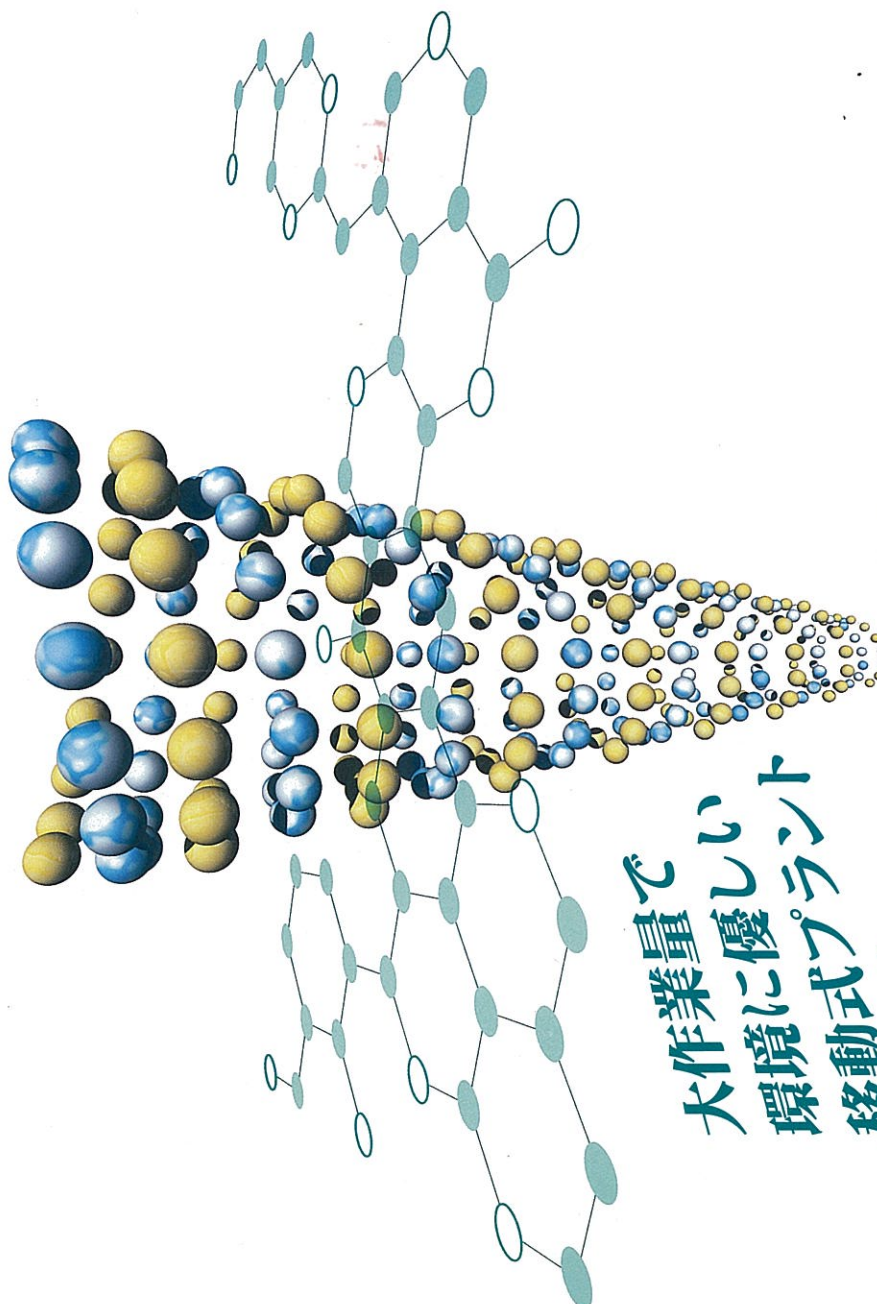
建設コホット事業部
 〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 TEL. 03-5561-2707
 北海道 TEL. 011-210-6220 中部・北陸 TEL. 052-566-2631
 東北 TEL. 022-231-7111 大阪・四国 TEL. 06-6864-2121
 関東 TEL. 048-647-7211 中国・九州 TEL. 092-641-3114
 東京 TEL. 044-287-7713
 ●オペレーターの養成・資格修得(大型特殊・車両系建設機械運転等)のご相談はコマツの教育センターへ
 コマツ教育センター
 北海道センター TEL. 011-377-3866 愛知センター TEL. 0566-24-3580
 埼玉センター TEL. 0429-53-4430 大阪センター TEL. 0720-49-2063
 東京センター TEL. 042-532-7555 和歌山センター TEL. 0734-77-6562
 神奈川センター TEL. 044-287-2071 奈良センター TEL. 0743-68-3333
 栗津センター TEL. 0761-44-3930 九州センター TEL. 092-935-4131



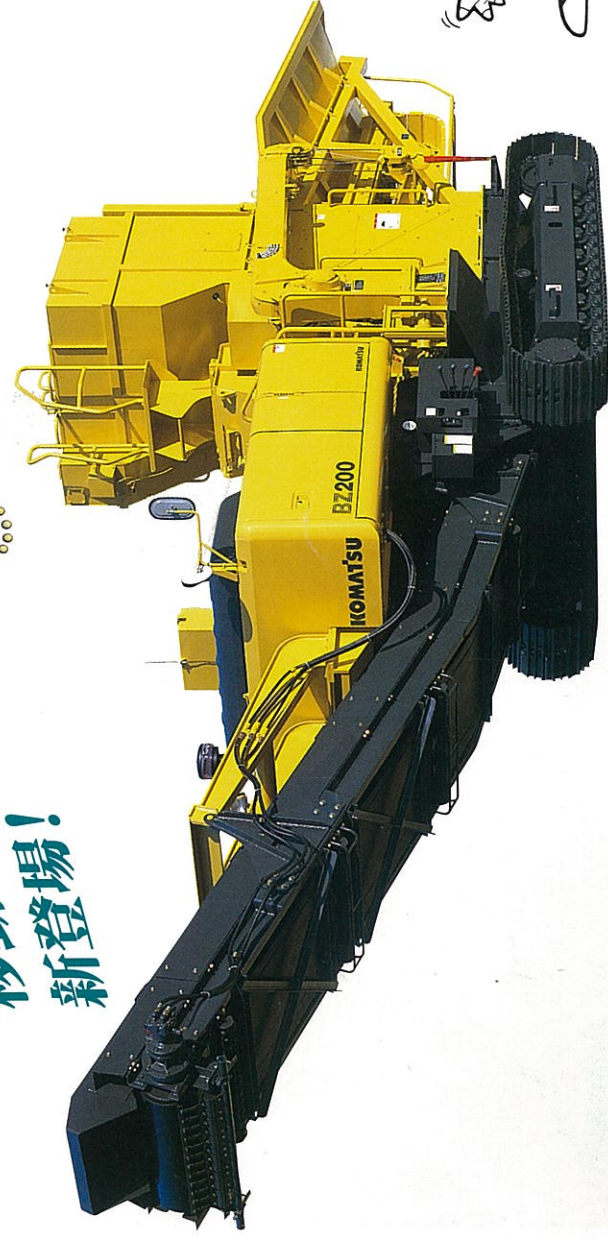
GARA-PAGOS
RETERRA

自走式土質改良機

ガラパゴス
リテラ BZ200

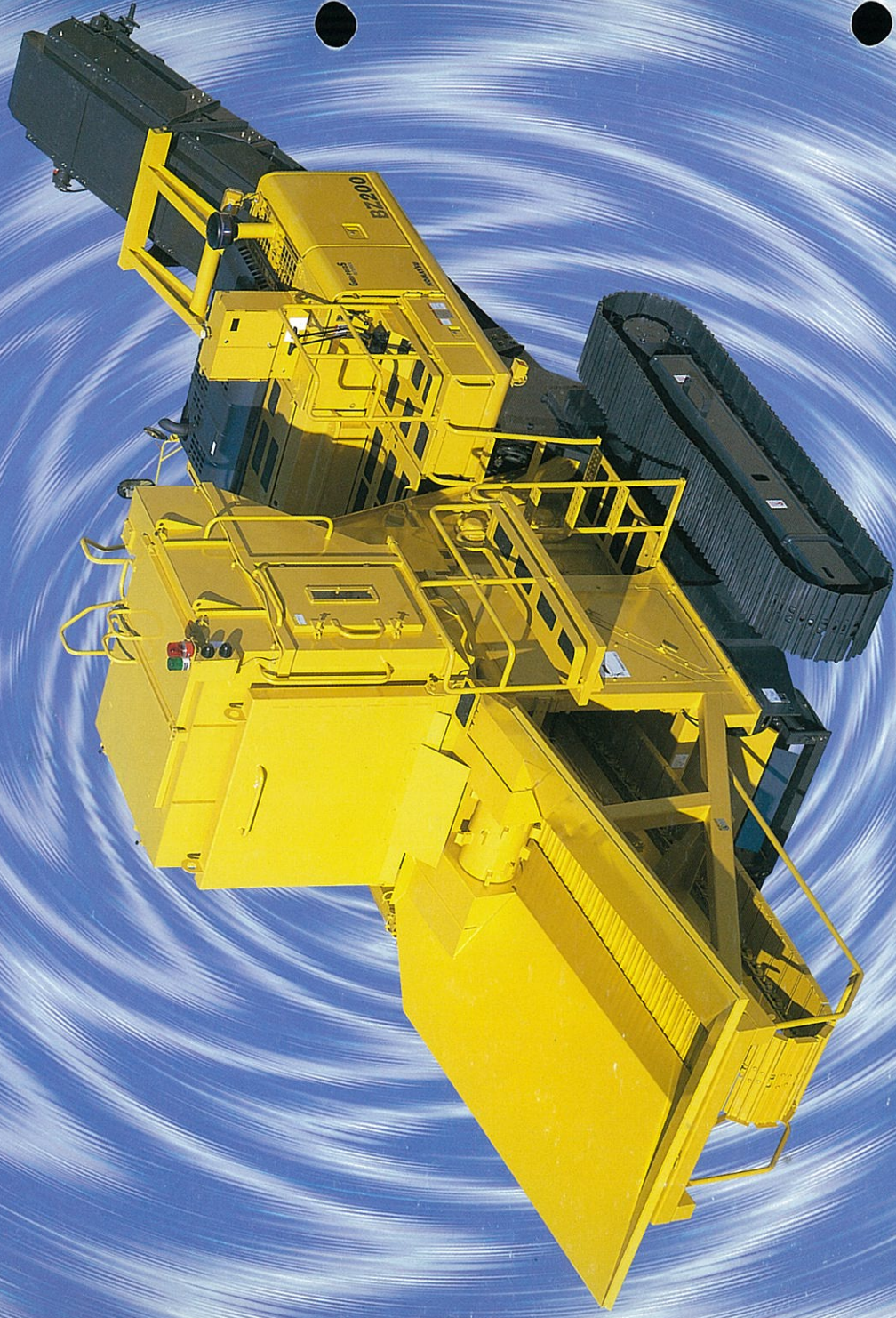


大作業量で
環境に優しい
移動式プラント
新登場!



画期的な混合能力により 高品質な改良土を効率的に生産！

これは大胆な発想の転換。建設発生土を現場処理してリサイクルできるシステム...
それがガラパゴス・リテラ「BZ200」。プラントなみの高品質な混合性能と大作業量を
誇るうえ、周辺環境にやさしい低粉塵・低騒音設計です。



■リテラ開発の背景

- 年々増大する建設発生土(残土)は従来、ほとんどが埋め立て用として処分され、わずか一部が土質改良プラントで処理しリサイクルされてきました。
- しかし、山砂等の新材の不足、埋め立て処分地の不足に伴う遠方化・分散化による運搬費の増大、処分費の高騰等により年々再利用の必要性が増大しています。
- そこで、より効率の良い建設発生土リサイクルシステム「ガラパゴス・リテラ」が開発されました。

愛称 ガラパゴス リテラ RETERRA とは

- ガラパゴスとは...コマツにおいて、建設副産物分野での自走式リサイクル機械の総称です。
- リテラとは...「テラ」は英語で土、地面または地球という意味があります。そして「リ」は、元へ・再びという意味であり、「リサイクル」と同様に再び利用できる土質にするという意味になり、まさに土質改良そのものを指すことから、リテラと名付けました。
- 上記を合わせて、建設発生土リサイクル機械で自走式の土質改良機を表すことになりました。

リテラによる効果

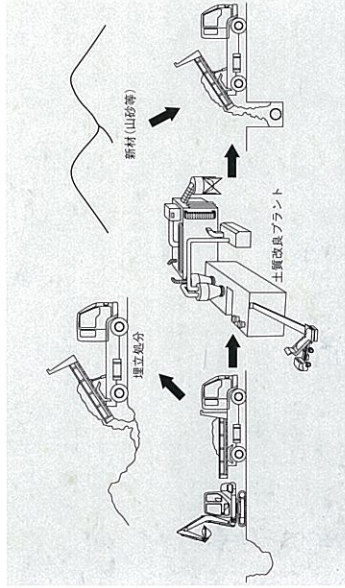
- 各種工事からの建設発生土を、その現場で土質改良することにより、改良土としてリサイクルが可能になります。
- 建設発生土処分費、新材の購入費、運搬費等の大幅なコストダウンが可能。資源の節約にも貢献します。

■ 従来工法とリテラ工法の比較

建設発生土改良

従来工法

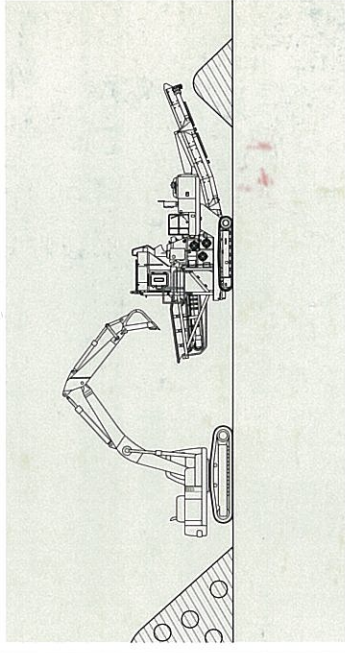
建設発生土は大部分が埋め立て等に処分され、ごく一部が土質改良プラントにて改良され、埋戻し材として利用されています。



問題点 プラント遠方化による運搬費の増大、処分費の高騰、新材の資源減少による購入費アップ等の問題があり、プラント、処分場付近への運搬車両による排気ガス・交通渋滞なども問題となっています。

リテラ工法

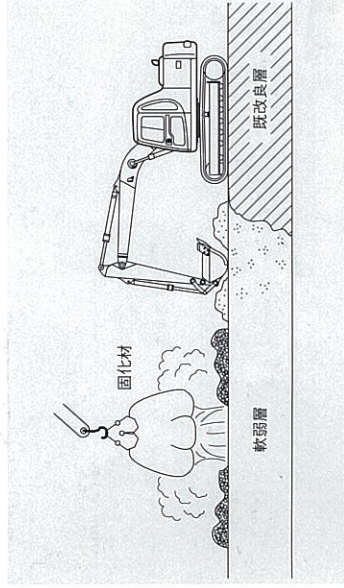
建設発生土を、その場でリテラにて固化材と混ぜて改良土をつくり、埋戻し材・盛土材として再利用します。



メリット 現場で建設発生土を土質改良、リサイクルできるので、処分費や輸送費、新材の購入費等が不要で、大幅なコストダウンを実現。また、各種公害問題や交通渋滞を緩和し、資源節約にも貢献します。

従来工法

軟弱地盤に固化材を撒き、油圧ショベルで混ぜながら突き固めます。

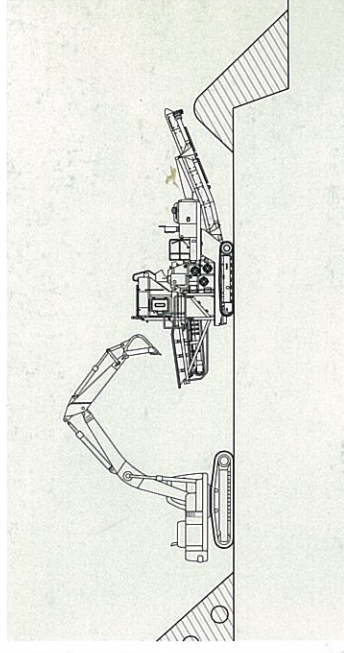


問題点 固化材との混合が不十分で混合ムラができ、地盤の固さが均一になりにくく、固化材による粉塵公害も問題です。

地盤改良

リテラ工法

掘り返した土砂をリテラにて固化材と混ぜて改良土をつくり、埋め戻した所を転圧します。



メリット 固化材と均質に混合できるため高品質な造成が可能で、固化材散布車両も不要。粉塵の問題も解消されます。